

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”
 ～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和2年度「家庭教育支援セミナー」～家庭教育 with AI～	
期 日	令和2年11月18日（水）	
参加者	21名（会場9名+オンライン12名）	
日 程	時間	内容
	13：15	【受付】
	13：30	【開会行事】
	13：35	【説明】 「本セミナーの目的と進め方について」 福岡教育事務所 社会教育主事
	13：45	【講話】 「家庭教育 with AI」 ～AI時代の今、求められる家庭教育を考える～ 講師 福岡大学 工学部電子情報工学科 教授 鶴田 直之氏
	14：50	【全体交流】 「AI時代の今、求められる家庭教育の在り方について」
	15：20 15：25	【閉会】
活動の 実際	<p>【講話】 福岡大学工学部電子情報工学科教授の鶴田直之氏に「家庭教育 with AI」と題して講話をしていただきました。鶴田教授は、① AIの現状、未来の社会・仕事はどう変わるのか②その時代を生きる子どもたちは今、何を身に付けるべきかについて話されました。特に②においては、家庭教育で、基礎学力・反復による忍耐力・変化を楽しむ好奇心の3つの視点を大切にしていくべきだとお話されていました。</p>	



【講話】
 福岡大学工学部電子情報工学科
 教授 鶴田 直之 氏

<p>活動の 実際</p>	<p>【全体交流】 保護者・行政職員・学校関係者・地域それぞれの立場から AI 時代の家庭教育を進めるために、どのような取組が考えられるか全体交流を行いました。具体的には「ご自身の立場でどんなことができますか？」という問いに対して、行政職員からは「環境整備を進めていく」、学校関係者からは「積極的に ICT を活用した授業を取り入れていく」、保護者の方からは「大人が積極的に ICT を積極的に取り入れていく」といった方策が発表され、それぞれの立場からの考えを交流することができました。鶴田教授からは「学校や行政職員の方が環境を整備することは、子どもたちが AI を使いこなしていく人材になるための土台として大切である」と、ご教示いただきました。</p> <div data-bbox="954 219 1476 607" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【全体交流の様子】</p>
<p>全体を 通して</p>	<p>事後アンケートには以下のような記述がありました。</p> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで子育ての視点の講演会を聴いていたので、AI 時代に関することについて専門的な大学の教授のお話が聴けてよかったです。 ○日本の ICT を取り巻く環境の遅れに危機感を受けると共に、幼少期から AI に馴染める教育や、その教育を担える人材の確保・活用の必要性を感じました。 <p>【行政職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時代のニーズに合う新たな家庭教育像をつくっていくのは人であり、県の立場としていかに向き合っていくか考えさせられました。 <p>【学校関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報処理の視点から、捉え直すことの大切さがわかりました。それを、どのように、子どもたちの力にするのか。考えていくことから始めたいと思います。 <p>※参加者は、本セミナーのねらいである AI 時代に求められる家庭教育の在り方や、子どもたちに求められる力を知ることができたのではないかと考えます。</p> <p>今後も、各市町の家庭教育支援の課題やニーズを把握し、情報提供等の支援に積極的に取り組んでいきます。</p>